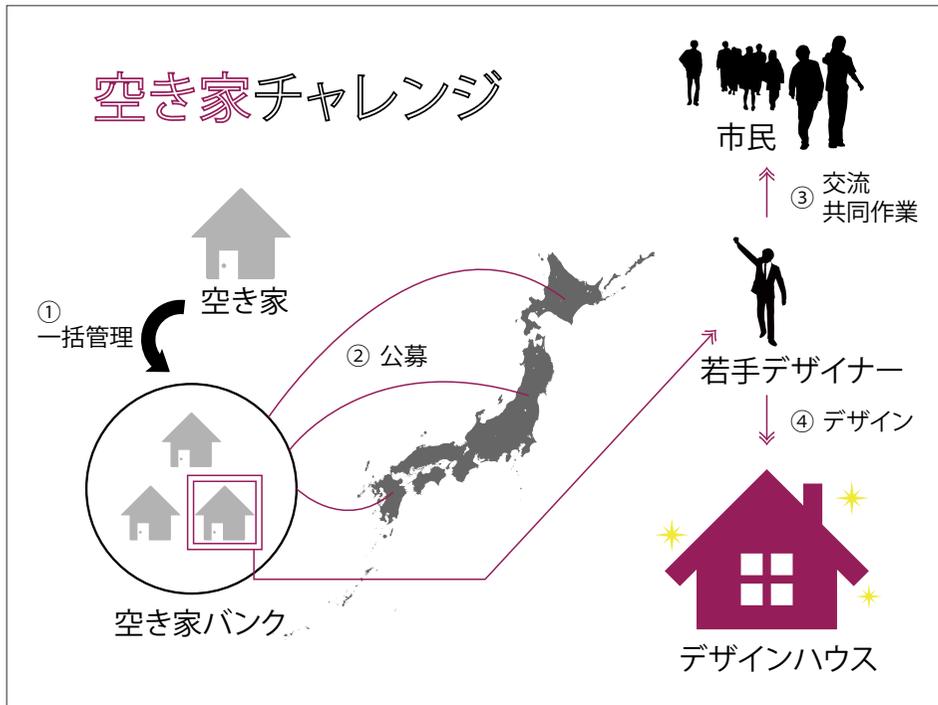


# 空き家

空地	植栽	建物	道路	境界
----	----	----	----	----

パブリック	コモン	パーソナル
-------	-----	-------

システム化で効率的・効果的に



仕組み

つながり

風景

営み

愛着

安心

来訪



空き家は今も街のあちこちに存在しており、今後も増えていく可能性があります。そこで、空き家を以下のような段階的なシステムで再生・活用することが考えられます。

- 1) 空き家となってしまった物件は、行政が運営する「空き家バンク」で一括管理を行う
- 2) 空き家の改築、運用方法のアイデアなどを、全国規模で若手デザイナーなどに公募する
- 3) 常に対話を行って設計者と住民との距離を縮め、空き家を街にとって必要なものに変えていく
- 4) デザイナーが提案するデザインや用途で、塩尻の街に新しい風を吹き込む

こうしたシステムを使えば、空き家活用が、若手デザイナーにとっては挑戦の場となり、塩尻の街の価値をあげることにも繋がります。ちなみに左写真は、東伊豆で行われた消防団の建物を、用途変更によって再生した一例です。